

農薬豆知識【病気のお話】 《だいこん亀裂褐変症》

だいこん畑の密談／亀裂褐変症の役者達

キャスト(病原菌たち)

アラファー: アファノマイセス ラファニ

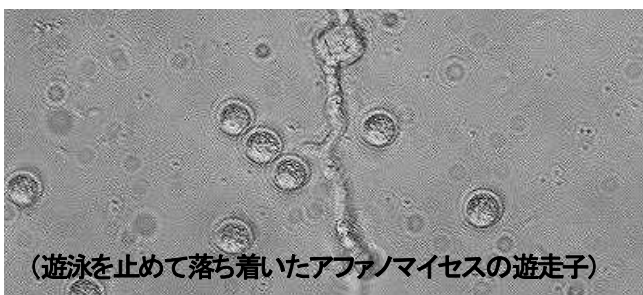
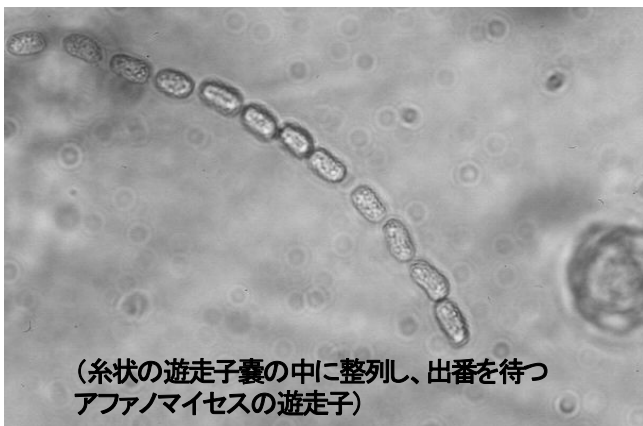
リゾⅡ: リゾクニア ソラニ AG-2-1 培養型Ⅱ

リゾⅢ: リゾクニア ソラニ AG-2-2 培養型ⅢB

アラファー: 夏は夜、雨など降るもおかし。

雨、雨、降れ降れ、もっ〜と降れ。

リゾⅡ: 出た！雨に便乗した得意の遊走子攻撃か。



リゾⅢ: 我らリゾはだいこんの表面をいただいて、あとは遠慮しておるが、アラファーは時にえげつないよな。

アラファー: 食べるなら表面だけじゃ勿体なし。中心部までいただきますよ。

リゾⅡ: だいこんがくびれる程にかい？

リゾⅢ: それでアラファーの荒業は「根くびれ病」と呼ばれる訳だな。

アラファー: リゾによる根腐病とて同じこと。商品価値をなくす意味では。



リゾⅢ: 遠慮して表面だけで我慢してみても、確かに君の言う通り。

リゾⅢ: アラファーって、てんさい黒根病のアファノマイセス氏と似てるけど兄弟？

アラファー: 違いますよ、アファノマイセスだけれども例えてみれば、なすとばれいしよ。

リゾⅢ: そっか、兄弟どころか別の生物だな。だいこん以外の好物は何さ？

アラファー: キャベツ、ルタバカ、ブロッコリー、カリフラワーにかぶ、はくさい。

リゾⅡ: お前もアブラナ科の偏食かい。気が合うね。

リゾⅢ: リゾⅡは「アブラナ科低温系」だもんな。30℃超えたら息ひそめてるよな。

リゾⅡ: そういうリゾⅢは、夏になるとやたらテンション高いけど、高温系だっけ？ゴルフ場でも暴れてるって噂も聞かし、攻撃範囲も広いよね〜。

リゾⅢ: 夏はパーツとカーニバル。35℃でもOKだよ。ゴルフ場の綺麗な芝にはブラウンパッチだな。8月のグリーンなんか最高だな。キーパーさんごめんなさい。こないだ畑で、だいこん・やまのいも・にんじん・ごぼうと遊んでたら、人間に見つかったやつ。(十勝農試、2000)

アラファー: 夏が来れば思い出す、近くの大根白い肌。27~32℃、ほどよい温度で、攻め込むよ。

(Ghafoor, 1964)

リゾⅡ: また妙な歌作って。アラファーも夏派か。俺は春と秋がしいなあ。春はあけぼの、秋は夕暮、いとおかし。

リゾⅢ: なんか、土壤消毒のニオイしない？

アラファー: うっつ〜、わるし。

(オカチャン)

<参考文献>

・竹内昭士郎(1990)ダイコン根部に発生する異常症状 農業技術大系 野菜編 第9巻 P151-169

・Ghafoor, A. (1964) Phytopathology 54: P1167-1171.

・十勝農試(2000)「野菜を組み入れた畑輪作体系における生産不安定要因の抽出」成績概要書。

・日本植物防疫協会(1984)新版 土壤病害の手引き

(2013年10月)